



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 よみうりランド

コード番号 9671 URL <http://www.vomiuriland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関根 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部担当

(氏名) 小林 利光

TEL 044-966-1134

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,926	△1.3	1,854	△6.4	2,017	△5.3	1,188	△6.7
23年3月期第3四半期	12,087	9.8	1,981	10.6	2,130	14.1	1,274	22.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,151百万円 (△6.8%) 23年3月期第3四半期 1,234百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	15.07	—
23年3月期第3四半期	15.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第3四半期	52,311		18,235		34.9
23年3月期	53,181		17,626		33.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 18,235百万円 23年3月期 17,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—	2.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	15,000	△1.7	1,700	△14.1	1,800	△14.9	1,000	△14.9	12.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	83,522,024 株	23年3月期	83,522,024 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	5,117,131 株	23年3月期	4,531,564 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	78,890,023 株	23年3月期3Q	79,965,367 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに持ち直しの動きがみられたものの、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあります。また、景気の先行きも、原発災害の影響や、海外景気の下振れ懸念などにより、不透明な状況が続いております。当社グループの関連する業界におきましても、個人消費は横ばいで推移しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社は募金活動などの被災者支援や義援金の寄付、また節電対策などに取り組むとともに、売上確保へ向けた積極的な営業展開を図りました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同様47日開催されました。電力供給の制約の下、5月から節電対策を講じたナイトー競馬を実施し、重賞競走は6月の「関東オークス」、7月の「スーパーキングレディーカップ」などが開催されました。12月はセミナイトーで実施され、重賞競走「全日本2歳優駿」が行われました。船橋競馬は、震災と台風15号の影響による本場開催中止により、前年同期比5日減の34日開催されました。重賞競走は5月にビッグレース「かしわ記念」、9月の「日本テレビ盃」などが開催されました。また、9月には近隣商業施設とコラボレーションした親子で楽しめるイベント「おうまフェス 2011～親子であそぼ。～」を開催し好評を博しました。船橋オートレースは、震災の影響により4月の本場開催が中止となったため、前年同期比8日減の45日開催されました。5月にはGI「黒潮杯」、11月には7年振りにSG「日本選手権」が開催されました。また、7月には新人オートレーサーがデビューし、マスコミにも取り上げられ、話題となりました。なお、上記のほか、川崎競馬場150日、船橋競馬場158日、船橋オートレース場199日の場外発売を実施しております。また、川崎競馬場では、12月から日本中央競馬会(JRA)の全レースの場外発売を開始し、8日実施されました。競輪場外車券売場「サテライト船橋」は、前年同期比5日減の268日実施されました。近隣施設が震災の影響で開催を見送るなか、4月1日より稼働し、多くのファンが来場しました。9月には繁忙日対策として有料席を増設し、顧客ニーズに対応しました。

なお、通期の開催日数につきましては、川崎競馬及び船橋競馬は1日減、船橋オートレースは1日増の予定です。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、積極的に外部営業に取り組み、多くのコンペを獲得したことなどにより入場者は増加しました。また、復興支援としてチャリティコンペを実施しました。なお、12月に開催された「ゴルフ日本シリーズJTカップ」は悪天候により3日目中止となったものの、最終日はプレーオフまでもつれこみ大いに盛り上がりを見せました。よみうりゴルフ倶楽部は、遊園地のイベント「ほたるの宵」や「ジュエルミネーション」と連携したディナーイベントなどを実施し好評を博しました。また、外部営業や自主コンペのタイムリーな開催などに積極的に取り組みましたが、震災による自粛ムードや悪天候などの影響により、入場者は減少しました。静岡よみうりカントリークラブは、早期予約による割引施策「早割」や自主コンペを積極的に実施いたしました。夏期の節電の影響による企業の土・日曜日操業により木・金曜日の入場者が増加したことに加え、土・日曜日に、来場者減少の歯止め策を実施した結果、入場者は増加しました。千葉よみうりカントリークラブは、夏期の節電の影響による、企業の土・日曜日操業対策として、土・日・祝日の割引料金企画「サマーミッション」を実施したほか、賞品が当たるスクラッチカードを配布するイベント「けずってゴルフ」、祝日に49歳以下への割引料金サービスなどを実施したことなどにより入場者は増加しました。

遊園地部門の遊園地では、ゴールデンウィークの「ご当地グルメ」、6月の「ほたるの宵」、夏には恒例の「スプラッシュバンデット」やリニューアルしたお化け屋敷「闇霊村(やみろうむら)～女武士～」、9月には「サンマ祭と東北うまいものフェア」のほか、EASTでは多数のアイドルイベントなどを展開しました。11月からは昨年に引き続き、世界的照明デザイナー石井幹子氏監修のもと、123万球にスケールアップしたイルミネーションイベント「ジュ

エルミネーション」を開催しました。人気グループ「ファンキーモンキーベイビーズ」を使ったテレビコマーシャルの効果などもあり、多くのお客様で賑わいました。これらの結果、震災の影響による落ち込みを巻き返し、入園者は増加しました。プールWAIは、昨年から実施し好評を博している「ダンスプラッシュ」をリニューアルして実施したほか、夜間にビアガーデンを営業し、好評を博しました。この結果、入場者は休日の天候不順などが影響し前年を下回ったものの、プールWAI開場以来2番目の入場者数を記録しました。温浴施設「丘の湯」は回数券利用の増加や、遊園地のイベントと連動し集客を図ったことなどにより、入場者は増加しました。「季乃彩」はポイント2倍デーや朝風呂の実施などイベントを開催したことなどにより、入場者は増加しました。ゴルフガーデン（練習場）は、様々な顧客サービスイベントを実施したほか、9月からは定休日である火曜日にも営業を開始するなどして集客に努めましたが、震災の影響で営業時間を短縮したことなどが尾を引き、入場者は減少しました。また、よみうりV通りの60メートルの高低差を生かしたマラソン大会「よみうりランドVロードレース2011」を初開催し、多くのランナーが参加しました。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は、震災の影響による減収に伴い102億5千8百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

また、不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が増加したことなどにより11億4千7百万円（同8.6%増）、サポートサービス事業の売上高は、工事の受注が減少したことなどにより14億4千4百万円（同5.1%減）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は119億2千6百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は18億5千4百万円（同6.4%減）、経常利益は20億1千7百万円（同5.3%減）、四半期純利益は11億8千8百万円（同6.7%減）となりました。

（2）連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、2年目を迎えている遊園地のイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」の入場者が好調であることに加え、販売用宅地の分譲が予想より増加したこと等により、当初見込みを上回る状況で推移しております。

このような状況を踏まえ、今後の景気動向や天候等の不確定要因は多いものの、通期の業績予想につきまして、平成23年5月13日発表の数値から下記のとおり修正をいたします。

平成24年3月期 連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	14,795	1,442	1,564	918
今回修正予想(B)	15,000	1,700	1,800	1,000
増減額(B-A)	205	258	236	82
増減率(%)	1.4	17.9	15.1	8.9
(ご参考)前期実績 平成23年3月期	15,258	1,978	2,115	1,175

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,195,562	6,235,737
受取手形及び売掛金	747,813	907,609
たな卸資産	269,281	256,249
繰延税金資産	177,760	107,349
その他	81,710	182,732
貸倒引当金	△83	△328
流動資産合計	7,472,045	7,689,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,754,884	17,692,961
土地	17,876,407	17,878,853
建設仮勘定	231,368	379,530
その他(純額)	818,638	739,061
有形固定資産合計	37,681,298	36,690,406
無形固定資産		
その他	82,947	84,384
無形固定資産合計	82,947	84,384
投資その他の資産		
投資有価証券	7,163,503	7,024,620
繰延税金資産	583,630	578,182
その他	198,549	245,035
投資その他の資産合計	7,945,683	7,847,838
固定資産合計	45,709,929	44,622,629
資産合計	53,181,974	52,311,978
負債の部		
流動負債		
営業未払金	629,425	335,356
短期借入金	3,100,000	3,065,000
1年内返済予定の長期借入金	1,207,400	1,526,800
未払法人税等	417,762	398,172
賞与引当金	119,005	29,924
災害損失引当金	103,711	6,322
その他	1,327,470	1,554,081
流動負債合計	6,904,776	6,915,658
固定負債		
長期借入金	3,285,600	2,140,500
繰延税金負債	841,292	625,285
退職給付引当金	579,133	631,784
役員退職慰労引当金	108,250	99,141
長期預り金	23,543,263	23,375,792
その他	292,829	287,841
固定負債合計	28,650,369	27,160,345
負債合計	35,555,145	34,076,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,627	4,730,578
利益剰余金	7,620,193	8,414,198
自己株式	△1,612,749	△1,759,692
株主資本合計	16,791,102	17,438,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	835,726	797,859
その他の包括利益累計額合計	835,726	797,859
純資産合計	17,626,828	18,235,974
負債純資産合計	53,181,974	52,311,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	12,087,056	11,926,976
売上原価	8,892,364	8,880,695
売上総利益	3,194,691	3,046,281
販売費及び一般管理費	1,212,917	1,191,923
営業利益	1,981,773	1,854,357
営業外収益		
受取利息	1,137	592
受取配当金	173,703	173,584
その他	51,265	51,034
営業外収益合計	226,106	225,210
営業外費用		
支払利息	77,160	61,894
その他	67	531
営業外費用合計	77,227	62,425
経常利益	2,130,652	2,017,142
特別利益		
固定資産売却益	2,007	—
受取補償金	89,180	100,000
特別利益合計	91,187	100,000
特別損失		
固定資産除却損	109,463	168,548
投資有価証券評価損	—	2,855
災害による損失	—	12,112
減損損失	—	52,170
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	87,952	—
特別損失合計	197,416	235,687
税金等調整前四半期純利益	2,024,423	1,881,455
法人税、住民税及び事業税	757,523	734,488
法人税等調整額	△8,097	△41,989
法人税等合計	749,426	692,499
少数株主損益調整前四半期純利益	1,274,997	1,188,956
四半期純利益	1,274,997	1,188,956

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,274,997	1,188,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,037	△37,867
その他の包括利益合計	△40,037	△37,867
四半期包括利益	1,234,959	1,151,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,234,959	1,151,089
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,542,056	1,055,572	489,426	12,087,056	—	12,087,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,961	1,350	1,033,160	1,044,472	△1,044,472	—
計	10,552,018	1,056,922	1,522,587	13,131,528	△1,044,472	12,087,056
セグメント利益	2,387,914	601,290	98,048	3,087,253	△1,105,480	1,981,773

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,105,480千円には、セグメント間取引消去967千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,106,447千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	総合レジャー 事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,248,832	1,146,572	531,571	11,926,976	—	11,926,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,911	1,390	912,990	924,292	△924,292	—
計	10,258,744	1,147,962	1,444,562	12,851,268	△924,292	11,926,976
セグメント利益	2,180,890	657,883	101,478	2,940,252	△1,085,895	1,854,357

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,085,895千円には、セグメント間取引消去3,254千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,089,149千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。